

# 主な取組の評価（⑤教育・人材育成関連）

## 1. 有効性が認められる取組

| 取組 ※ 1 | 種別 | 事業費 (百万円) |
|--------|----|-----------|
|--------|----|-----------|

### 社会に出る上で必要な資質を身に付けられる教育環境が整っていること等

【一定程度有効に機能】

【教育に係る負担軽減と公平な教育機会の確保 (5(2)ア)】

|                                |     |       |
|--------------------------------|-----|-------|
| ○私立高校に通学する生徒等への授業料に充てる就学支援金の交付 | 国補助 | 6,911 |
|--------------------------------|-----|-------|

### 個々の優れた能力や感性を育む教育環境が充実していること

【一定程度有効に機能】

【体験活動等の充実及び学校・家庭・地域の相互の連携・協力(5(1)ア)】

|  |        |       |
|--|--------|-------|
| ○沖縄本島の児童の離島への派遣による地域住民との交流や体験学習、民泊等の実施 | ソフト交付金 | 1,406 |
|--|--------|-------|

【大学等の教育研究環境の充実及び地域貢献活動の促進 (5(4)ウ)】

|  |    |       |
|--|----|-------|
| ○伝統芸術文化の継承や創造的芸術の表現等の専門的かつ横断的な教育研究及びその研究成果を活かした教育活動の実施 | 県単 | 1,149 |
|--|----|-------|

【地域の教育機能の充実 (5(1)イ)】

|                             |    |       |
|-----------------------------|----|-------|
| ○青少年教育施設の職員研修会や計画訪問による運営の改善 | 県単 | 1,531 |
|-----------------------------|----|-------|

### 外国語教育が充実していること

【一定程度有効に機能】

【外国語教育、海外交流・留学等の充実 (5(4)ア)】

|                                     |        |       |
|-------------------------------------|--------|-------|
| ○特別支援学校を含む県立学校への外国語指導助手（ALT）の配置又は派遣 | 県単     | 1,084 |
| ○高校生のアメリカ、欧州等への1年間の派遣               | ソフト交付金 | 1,175 |

### 沖縄の産業発展を担う人材の育成が図られていること

【一定程度有効に機能】

【情報通信産業を担う人材の育成(5(5)ア)】

|               |        |       |
|---------------|--------|-------|
| ○IT関連資格取得への支援 | ソフト交付金 | 1,056 |
|---------------|--------|-------|

【農林水産業・建設産業を担う人材の育成(5(5)イ)】

|   |        |       |
|---|--------|-------|
| ○農業従事者の研修施設の整備や就農相談者への対応、新規就農者等への農業用機械等の導入経費に対する助成等 | ソフト交付金 | 2,423 |
|---|--------|-------|

※ 1 列挙した取組は、ロジックモデルにおける「主な取組」から抽出。有効性が認められる取組については、事業費が一定規模（10億円以上）であり、かつ、達成状況が「達成」又は「概ね達成」の予算事業を選定。ただし、本分野においては、列挙される取組数を勘案し、上記に加えて、最終アウトカムごとに、事業費が10億円未満であるものの当該最終アウトカムに紐づけている施策の「主な取組」に列挙されている予算事業の中で次に事業費が大きく、かつ、達成状況が「達成」又は「概ね達成」の予算事業を選定。

## ＜社会に出る上で必要な資質を身に付けられる教育環境が整っていること等＞

○教育に係る負担軽減と公平な教育機会の確保に向けた国補助による**私立高校に通学する生徒等への就学支援金の交付**等の取組が**一定程度有効に機能**したと考えられる。

○一方、職業観・勤労観の育成等（キャリア教育の推進）に向けたソフト交付金による**県立高校への就職支援員の配置による就職希望生徒や就職指導担当教諭向けの研修の実施**等の取組が進められているものの、高等学校卒業生の進路決定率の改善状況は進展が遅れていることから、これらの取組については**改善・見直しの余地がある**ほか、教育に係る負担軽減と公平な教育機会の確保に向けた県単等による**離島・へき地における県立学校の超高速回線によるインターネット環境の整備**等の取組が進められているものの、へき地教育においてICTを活用した授業実践を行っている学校の割合の改善状況は進展が遅れていることから、これらの取組についても**改善・見直しの検討が必要**であると考えられる。

## ＜個々の優れた能力や感性を育む教育環境が充実していること＞

○体験活動等の充実及び学校・家庭・地域の相互の連携・協力に向けたソフト交付金による**沖縄本島の児童の離島への派遣**、大学等の教育研究環境の充実及び地域貢献活動の促進に向けた県単による**伝統芸術文化の継承や創造的芸術の表現等の専門的かつ横断的な教育研究**、地域の教育機能の充実に向けた県単による**青少年教育施設の職員研修会**等の取組が**一定程度有効に機能**したことが考えられる。

## ＜子どもたちの健全育成が図られる教育環境がつけられていること＞

○幼児児童生徒の基礎的な体力の向上及び健康・安全教育の推進に向けた県単による**栄養教諭・学校栄養職員等向けの研修会の実施**や**学校への体育実技指導協力者の派遣**等の取組が進められているものの、毎日朝食を摂取する児童生徒の割合（小・中学校）、体力・運動能力テスト結果（小・中学校）の改善が見られないことから、これらの取組については**改善・見直しの検討が必要**であると考えられる。

## ＜外国語教育が充実していること＞

○外国語教育、海外交流・留学等の充実に向けた県単による**県立学校への外国語指導助手（ALT）の配置**、ソフト交付金による**アメリカ、欧州等への高校生の1年間派遣**等の取組が**一定程度有効に機能**したと考えられる。

## ＜沖縄の産業発展を担う人材の育成が図られていること＞

○情報通信産業を担う人材の育成に向けたソフト交付金による**IT関連資格取得への支援**、農林水産業等を担う人材の育成に向けたソフト交付金による**農業従事者の研修施設の整備**や**就農相談者への対応**、**新規就農者等への農業用機械等の導入経費に対する助成**等の取組が**一定程度有効に機能**したことが考えられる。

## ＜地域が抱える課題の解決や地域づくりに取り組む人材の育成が図られていること＞

○医師・看護師等の育成等に向けたソフト交付金による**県立病院による離島・へき地へ派遣する医師の養成**、県単による**看護師の確保が将来的に困難と見込まれる医療機関に就業する看護師養成校の生徒への就学資金の貸与**や**県立看護大学の運営**や**学生への国家試験対策講座の実施**等の取組が**一定程度有効に機能**したことが考えられる。

### 地域が抱える課題の解決や地域づくりに取り組む人材の育成が図られていること

【一定程度有効に機能】

【医師・看護師等の育成(5(6)ア)等】

|   |        |       |
|---|--------|-------|
| ○県立病院による離島・へき地へ派遣する医師の養成                        | ソフト交付金 | 2,088 |
| ○看護師の確保が将来的に困難と見込まれる医療機関に就業する看護師養成校の生徒への就学資金の貸与 | 県単     | 1,108 |

【大学等の教育研究環境の充実及び地域貢献活動の促進(5(4)ウ)等】

|   |    |       |
|---|----|-------|
| ○県立看護大学の運営及び国家試験対策講座の実施や学習環境の確保等の学生への支援 | 県単 | 1,605 |
|---|----|-------|

## 2. 有効性に課題ありと考えられる取組

| 取組 ※ 1 | 種別 | 事業費 (百万円) |
|--------|----|-----------|
|--------|----|-----------|

### 社会に出る上で必要な資質を身に付けられる教育環境が整っていること

【改善・見直しの余地あり】

【職業観・勤労観の育成等（キャリア教育の推進）(5(3)ウ)】

|   |        |     |
|---|--------|-----|
| ○県立高校への就職支援員の配置による就職希望生徒を対象とした宿泊研修や就職指導担当教諭を対象とした研修の実施等 | ソフト交付金 | 803 |
|---|--------|-----|

【改善・見直しの検討が必要】

【教育に係る負担軽減と公平な教育機会の確保(5(2)ア)】

|                                      |     |     |
|--------------------------------------|-----|-----|
| ○離島・へき地における県立学校の超高速回線によるインターネット環境の整備 | 県単等 | 104 |
|--------------------------------------|-----|-----|

### 子どもたちの健全育成が図られる教育環境がつけられていること

【改善・見直しの検討が必要】

【幼児児童生徒の基礎的な体力の向上及び健康・安全教育の推進(5(3)イ)】

|   |    |     |
|---|----|-----|
| ○栄養教諭・学校栄養職員等を対象とした研修会の実施               | 県単 | 140 |
| ○希望する学校への体育実技指導協力者の派遣及び研究指定校における実践研究の実施 | 県単 | 125 |

# ロジックモデルによる施策の評価 (⑥文化関連)

## 【施策展開】

- ・1(4) : ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり、イ 文化の担い手の育成、ウ 文化活動を支える基盤の形成、エ 文化の発信・交流
- ・1(5) : ア 文化資源を活用したまちづくり、イ 伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興、ウ 文化コンテンツ産業の振興

| 施策 ※1<br>(当該施策が属する施策展開)          | 主な取組【達成状況】   | 取組の種類                      | H24~30年度<br>事業費<br>(百万円) | 初期アウトカム (「成果指標」) ※2 |       |      |             |
|----------------------------------|--|----------------------------|--------------------------|---------------------|-------|------|-------------|
|                                  |  |                            |                          | 達成率                 | 実績値   | 改善状況 | R3年度<br>目標値 |
| ○文化財の適切な保存 (1(4)ア)               | ・県の文化財保護審議会の開催・専門部会による文化財保護に関する調査【達成】<br>・国や県指定の史跡・名勝の保存整備【進展】<br>・琉球文書のデジタル化及びインターネット上での公開【達成】                          | 県単<br>国補助<br>ソフト交付金        | 2<br>1,451<br>631        | 100%                | 1,451 | ↑    | 1,450       |
| ○伝統行事の伝承・復元 (1(4)ア)              | ・各地域の伝統行事等に関するシンポジウムや講演の開催【達成】   | 県単                         | 57                       | 100%                | 57    | ↑    | 20,000      |
| ○しまくとぅばの保存・普及・継承 (1(4)ア)         | ・しまくとぅば普及センターの設置・運営【進展遅れ】<br>・しまくとぅば県民大会等の開催による普及推進【進展遅れ】  | ソフト交付金<br>ソフト交付金           | 207<br>156               | 95%                 | 207   | ↔    | 82.0        |
| ○創造的芸術文化の発展を担う人材の育成 (1(4)イ)      | ・県立芸術大学における教育活動及び教員による研究活動を推進【達成】<br>・芸術文化に特化・関連した職種・業種にターゲットを絞った求人への開拓等の就職支援【達成】  | 県単<br>県単                   | 1,149<br>35              | 100%                | 1,149 | ↑    | 65.0        |
| ○社会全体で文化活動を支える基盤の構築 (1(4)ウ)      | ・地域の伝統芸能など文化芸術活動への補助【達成】<br>・(公財) 沖縄県文化振興会が実施する文化事業等への補助【達成】<br>・生涯学習・文化振興拠点の整備【達成】                                      | ソフト交付金<br>県単<br>ソフト交付金     | 899<br>260<br>1,962      | 100%                | 899   | ↑    | 70.7        |
| ○国内外における文化交流の推進と発信力の強化 (1(4)エ)   | ・沖縄の文化等を活用した観光コンテンツのプロモーションや舞台公演の多言語化【達成】<br>・沖縄空手国際大会の開催や指導者の海外派遣等【達成】<br>・各市町村における伝統行事やイベントへの支援【進展】                    | ソフト交付金<br>ソフト交付金<br>ソフト交付金 | 767<br>578<br>521        | 100%                | 767   | ↑    | 9,400       |
| ○創造的芸術文化の発展を担う人材の育成 (1(4)イ)      | ・沖縄県芸術文化祭の開催【達成】<br>・中学校や高校の総合文化祭への大会運営費補助等【達成】  | 県単<br>県単                   | 35<br>74                 | 100%                | 35    | ↑    | 10,000      |
| ○芸術文化活動拠点の活用・充実 (1(4)ウ)          | ・博物館・美術館における常設展や特別展等の実施【達成】<br>・国立劇場おきなわとの連携による若手実演家公演の開催【達成】  | 県単<br>県単                   | 748<br>260               | 100%                | 748   | ↑    | 500,000     |
| ○社会全体で文化活動を支える基盤の構築 (1(4)ウ)      | ・地域の伝統芸能など文化芸術活動への補助【達成】(再掲)<br>・(公財) 沖縄県文化振興会が実施する文化事業等への補助【達成】   | ソフト交付金<br>県単               | 899<br>260               | 100%                | 899   | ↑    | 147,000     |
| ○国内外における文化交流の推進と発信力の強化 (1(4)エ)   | ・沖縄空手国際大会の開催や指導者の海外派遣等【達成】<br>・芸術分野で活躍する高校生の海外派遣【達成】<br>・世界エイサー大会の開催【概ね達成】   | ソフト交付金<br>ソフト交付金<br>県単     | 578<br>145<br>92         | 100%                | 578   | ↑    | 700         |
| ○地域文化資源の発掘及び相互交流の推進 (1(5)ア)      | ・各地域の伝統行事・芸能等をテーマにした文化講演等の開催【達成】<br>・各地域の伝統行事等のイベント情報を一元化したポータルサイトの構築及び情報発信【達成】  | 県単<br>ソフト交付金               | 57<br>25                 | 100%                | 57    | ↑    | 6,021       |
| ○地域文化を活用したまちづくりの促進 (1(5)ア)       | ・沖縄の伝統古民家に関する講演の開催による古民家の保存・活用に係る普及啓発【達成】<br>・各地域の文化財における誘客を目的とした説明板の設置や散策道等の整備等【進展】                                     | 国補助<br>ソフト交付金              | 10<br>588                | 100%                | 10    | ↑    | 13,000      |
| ○文化観光コンテンツの創出・育成 (1(5)ウ)         | ・沖縄の文化等を活用した観光コンテンツのプロモーションや舞台公演の多言語化【達成】  | ソフト交付金                     | 767                      | 100%                | 767   | ↑    | 30.0        |
| ○文化資源を活用したコンテンツ及びビジネスの創出 (1(5)ウ) | ・県内事業者による文化資源を活用した新たな事業展開への支援【達成】<br>・投資ファンドによるベンチャー企業への投資・研究開発補助及びハズオン支援【進展】<br>・県内外の文化関連企業等へのOJT派遣等【達成】                | ソフト交付金<br>ソフト交付金<br>ソフト交付金 | 899<br>187<br>126        | 100%                | 899   | ↑    | 258         |
| ○伝統工芸産業の継承・発展 (1(5)イ)            | ・人材育成や貸し工房、異業種交流の場、展示・販売等の機能を備えた拠点施設の整備【達成】<br>・各産地が行う後継者育成事業への補助及び若手工芸技術者への技術研修【達成】<br>・首都圏における沖縄県の工芸品の常設展示・販売場の設置等【達成】 | ソフト交付金<br>県単等<br>ソフト交付金    | 674<br>130<br>277        | 100%                | 674   | ↑    | 2,000       |
| ○感性型ものづくり産業の育成 (1(5)イ)           | ・現代の消費者ニーズに対応した商品開発を行う工芸事業者に対する開発・販売支援【達成】   | 県単等                        | 57                       | 100%                | 57    | ↑    | 3,300       |

※1 初期アウトカムに対応した施策を列挙しているため、一部の施策については再掲。  
 ※2 単に取組のアウトプットを成果指標としており、アウトカムとは整理し難い場合、初期アウトカムには含めていない。  
 アウトプット指標：「伝承者養成・技術練習事業における伝承者養成数」「文化庁等提供事業芸術鑑賞児童生徒数」

| 初期アウトカム (「成果指標」) ※2                | 最終アウトカム (「目標とするがた」) |         |      |             |
|------------------------------------|---------------------|---------|------|-------------|
|                                    | 基準値                 | 実績値     | 改善状況 | R3年度<br>目標値 |
| 文化財の指定件数 (件)                       | 1,345               | 1,413   | ↑    | 1,450       |
| 史跡等への訪問者数 (万人/年)                   | 327.7               | 401.9   | ↑    | 390.0       |
| 市町村文化協会会員数 (名)                     | 12,854              | 15,295  | ↑    | 20,000      |
| しまくとぅばを挨拶程度以上、話す人の割合 (%)           | 58.0                | 49.8    | ↔    | 82.0        |
| 県立芸術大学卒業者の就職率 (起業含む) (%)           | 58.0                | 67.3    | ↑    | 65.0        |
| 県文化協会加入率 (%)                       | 63.4                | 65.8    | ↑    | 70.7        |
| 県外・海外からの空手関係者来訪数 (人)               | 80                  | 7,169   | ↑    | 9,400       |
| 沖縄県芸術文化祭参加者数 (人)                   | 6,290               | 8,090   | ↑    | 10,000      |
| 沖縄県高等学校総合文化祭、中学校総合文化祭等への参加者数 (人/年) | 11,600              | 12,199  | ↑    | 12,500      |
| 県立博物館・美術館の入場者数 (人)                 | 452,502             | 504,894 | ↑    | 500,000     |
| 国立劇場おきなわの入場者数 (人)                  | 62,497              | 58,417  | ↔    | 64,000      |
| 県が支援した文化芸術関連イベントの来場者数 (人)          | 149,527             | 167,671 | ↑    | 147,000     |
| 県が支援した文化交流イベントの来場者数 (人/年)          | 14,960              | 34,419  | ↑    | 40,000      |
| 文化交流を目的に海外へ派遣した生徒数 (累計) (人)        | 10                  | 535     | ↑    | 700         |
| 世界エイサー大会の来場者数 (人)                  | 64,900              | 1,500   | ↔    | 6,000       |
| 伝統行事の伝承・復元等に関する公演等の入場者数 (累計) (人)   | 0                   | 5,258   | ↑    | 6,021       |
| 県が支援した市町村主催の文化芸術関連イベントの来場者数 (人/年)  | 521                 | 15,375  | ↑    | 13,000      |
| 観光客の「文化観光」の比率 (%)                  | 10.8                | 11.8    | ↑    | 30.0        |
| 観光客の「娯楽・入場費」の消費単価 (円)              | 7,831               | 6,485   | ↔    | 9,000       |
| 文化コンテンツ関連産業事業所数 (事業所)              | 257                 | 261     | ↑    | 258         |
| 県が支援したビジネスの事業化件数 (累計) (件)          | 3                   | 21      | ↑    | 30          |
| 工芸産業従事者数 (人)                       | 1,707               | 1,791   | ↑    | 2,000       |
| 工芸品生産額 (億円)                        | 41.3                | 40.2    | ↔    | 65.0        |
| 従事者一人当たりの工芸品生産額 (千円)               | 2,422               | 2,244   | ↔    | 3,300       |

※3 本来は基準値からの増加を目指す目標値の設定が望ましいところ、実績値が目標値を下回っていることを踏まえ、便宜上「↔」(改善せず)とする。  
 ※4 沖縄県が実施した第7回県民意識調査(平成21年)・第8回同調査(平成24年)・第10回同調査(平成30年)における県民生活の充足度に係る質問への回答のうち、「非常に満たされている」又は「ある程度満たされている」と回答した人の割合をそれぞれ比較。

| 最終アウトカム (「目標とするがた」)              | 各施策に属する取組の有効性の評価 |      |      |             |
|----------------------------------|------------------|------|------|-------------|
|                                  | 基準値              | 実績値  | 改善状況 | R3年度<br>目標値 |
| 魅力ある沖縄文化が保全・継承されていること (%) ※4     | 16.1             | 38.9 | ↑    | 県民満足度の向上    |
| 県民が文化芸術にふれる機会が増加していること (%) ※4    | 25.9             | 32.5 | ↑    | 県民満足度の向上    |
| 地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛んであること (%) ※4 | 25.6             | 28.7 | ↑    | 県民満足度の向上    |
| 工芸品生産額の増加 (億円)                   | 41.3             | 40.2 | ↔    | 65.0        |

| 各施策に属する取組の有効性の評価   | 施策及びその評価に関する論点  |
|--|---|
| 一定程度有効に機能  | ・最終アウトカムとして県民意識調査の調査値が設定されているため、客観的数値による目標設定をする余地がないか検討が必要  |
| 改善・見直しの検討が必要   | (参考)<br>初期アウトカム「改善不十分(↔)」または「改善せず(↔)」の背景・要因<br>・しまくとぅばを挨拶程度以上、話す人の割合<br>しまくとぅばを主に話す高齢者の減少 等   |
| 一定程度有効に機能  | ・最終アウトカムとして県民意識調査の調査値が設定されているため、客観的数値による目標設定をする余地がないか検討が必要  |
| 改善・見直しの検討が必要   | (参考)<br>初期アウトカム「改善不十分(↔)」または「改善せず(↔)」の背景・要因<br>・国立劇場おきなわの入場者数<br>台風の影響により平成30年度の入場者数が伸び悩んだこと 等  |
| 一定程度有効に機能  | ・最終アウトカムとして県民意識調査の調査値が設定されているため、客観的数値による目標設定をする余地がないか検討が必要  |
| 改善・見直しの余地あり<br>ただし、観光客の「娯楽・入場費」の消費単価に係る取組については改善・見直しの検討が必要 | (参考)<br>初期アウトカム「改善不十分(↔)」または「改善せず(↔)」の背景・要因<br>・世界エイサー大会の来場者数<br>競技形式から交流会形式に変更したことに伴う大会日数の減少 等   |
| 一定程度有効に機能  | ・文化観光コンテンツの創出・育成等の施策について、多様化する観光客のニーズを捉えた観光コンテンツの発掘・磨上げを行うとともに、沖縄の文化・芸能に係る認知度の向上に向けたプロモーション等の一層の強化を図ることが課題  |
| 改善・見直しの余地あり<br>ただし、観光客の「娯楽・入場費」の消費単価に係る取組については改善・見直しの検討が必要 | ・最終アウトカムとして県民意識調査の調査値が設定されているため、客観的数値による目標設定をする余地がないか検討が必要  |
| 一定程度有効に機能  | (参考)<br>初期アウトカム「改善不十分(↔)」または「改善せず(↔)」の背景・要因<br>・観光客の「文化観光」の比率・観光客の「娯楽・入場費」の消費単価<br>沖縄の文化・芸能を活用した観光プロモーションや外国人観光客に向けた舞台公演の多言語化等を実施しているものの、未だ認知不十分であること 等   |
| 一定程度有効に機能<br>ただし、最終アウトカムが改善しなかった要因等に留意<br>・工芸産業従事者数に係る取組   | ・伝統工芸産業の継承・発展及び感性型ものづくり産業の育成に係る施策について、工芸事業者・産地組合等の経営基盤強化や県産工芸品としてのブランド化を見据えた取組の改善や見直しが必要  |
| 抜本的な改善・見直しの検討が必要<br>・工芸品生産額及び従事者一人当たりの工芸品生産額に係る取組          | ・初期アウトカムについては、工芸産業従事者数や工芸品生産額といった数量的な指標だけでなく、県産工芸品のブランド化の進展や効果を把握できる客観的指標の検討が必要   |
| 抜本的な改善・見直しの検討が必要   | ・初期アウトカムと最終アウトカムが同一指標(「工芸品生産額」)となっており、施策の目的に照らして、事業の進捗・成果の発現に沿った段階的な成果指標の設定を通じて、適切に事業効果を把握する余地がないか検討が必要   |
| 抜本的な改善・見直しの検討が必要   | (参考)<br>初期アウトカム「改善不十分(↔)」または「改善せず(↔)」の背景・要因<br>・工芸品生産額・従事者一人当たりの工芸品生産額<br>工芸品の製造に必要な良質な原材料の不足、作業工程がほぼ手作業で技術技法の習得に長期間を要することや、経営形態が零細・個人工房が多いことに伴う収入の不安定さを理由とした、好調で収入の安定した他産業への転出、従事者の高齢化に伴う離職等による担い手不足 等 |

## 主な取組の評価（⑥文化関連）

### 1. 有効性が認められる取組

| 取組 ※ 1 | 種別 | 事業費<br>(百万円) |
|--------|----|--------------|
|--------|----|--------------|

#### 魅力ある沖縄文化が保全・継承されていること

〔一定程度有効に機能〕

##### 【創造的芸術文化の発展を担う人材の育成(1(4)イ)】

|                               |    |       |
|-------------------------------|----|-------|
| ○県立芸術大学における教育活動及び教員による研究活動の推進 | 県単 | 1,149 |
|-------------------------------|----|-------|

##### 【社会全体で文化活動を支える基盤の構築(1(4)ウ)】

|                      |        |       |
|----------------------|--------|-------|
| ○地域の伝統芸能など文化芸術活動への補助 | ソフト交付金 | 899   |
| ○生涯学習・文化振興拠点の整備      | ソフト交付金 | 1,962 |

#### 県民が文化芸術に触れる機会が増加していること

〔一定程度有効に機能〕

##### 【社会全体で文化活動を支える基盤の構築(1(4)ウ)】

|                         |        |     |
|-------------------------|--------|-----|
| ○地域の伝統文化など文化芸術活動への補助 ※2 | ソフト交付金 | 899 |
|-------------------------|--------|-----|

#### 地域の文化資源を活かしたまちづくりが盛んであること

〔一定程度有効に機能〕

##### 【文化資源を活用したコンテンツ及びビジネスの創出(1(5)ウ)】

|                               |        |     |
|-------------------------------|--------|-----|
| ○県内事業者による文化資源を活用した新たな事業展開への支援 | ソフト交付金 | 899 |
|-------------------------------|--------|-----|

### 2. 有効性に課題ありと考えられる取組

| 取組 ※ 1 | 種別 | 事業費<br>(百万円) |
|--------|----|--------------|
|--------|----|--------------|

#### 魅力ある沖縄文化が保全・継承されること

〔改善・見直しの検討が必要〕

##### 【しまくとぅばの保存・普及・継承(1(4)ア)】

|                     |        |     |
|---------------------|--------|-----|
| ○しまくとぅば普及センターの設置・運営 | ソフト交付金 | 207 |
|---------------------|--------|-----|

#### 県民が文化芸術に触れる機会が増加していること

〔改善・見直しの検討が必要〕

##### 【芸術文化活動拠点の活用・充実(1(4)ウ)】

|                            |    |     |
|----------------------------|----|-----|
| ○国立劇場おきなわとの連携による若手実演家公演の開催 | 県単 | 260 |
|----------------------------|----|-----|

##### 【国内外における文化交流の推進と発信力の強化(1(4)エ)】

|              |    |    |
|--------------|----|----|
| ○世界エイサー大会の開催 | 県単 | 97 |
|--------------|----|----|

#### 地域の文化資源を活かしたまちづくりが盛んであること

〔改善・見直しの検討が必要〕

##### 【文化観光コンテンツの創出・育成(1(5)ウ)】

|                                       |        |     |
|---------------------------------------|--------|-----|
| ○沖縄の文化等を活用した観光コンテンツのプロモーションや舞台公演の多言語化 | ソフト交付金 | 767 |
|---------------------------------------|--------|-----|

#### 工芸品出荷額の増加

〔抜本的な改善・見直しの検討が必要〕

##### 【伝統工芸産業の継承・発展(1(5)イ)】

|                              |        |     |
|------------------------------|--------|-----|
| ○首都圏における沖縄県の工芸品の常設展示・販売場の設置等 | ソフト交付金 | 277 |
|------------------------------|--------|-----|

##### 【感性型ものづくり産業の育成(1(5)イ)】

|  |     |    |
|--|-----|----|
| ○現代の消費者ニーズに対応した商品開発を行う工芸事業者に対する開発・販売支援 | 県単等 | 57 |
|--|-----|----|

※1 列挙した取組は、ロジックモデルにおける「主な取組」から抽出。有効性が認められる取組については、事業費が一定規模（10億円以上）であり、かつ、達成状況が「達成」又は「概ね達成」の予算事業を選定。ただし、本分野においては、列挙される取組数を勘案し、上記に加えて、最終アウトカムごとに、事業費が10億円未満であるもの当該最終アウトカムに紐づけている施策の「主な取組」に列挙されている予算事業の中で次に事業費が大きく、かつ、達成状況が「達成」又は「概ね達成」の予算事業を選定。

※2 「地域の伝統文化など文化芸術活動への補助」については、魅力ある沖縄文化が保全・継承されていること及び県民が文化芸術に触れる機会が増加していることの双方に一定程度有効に機能したと考えられることから再掲。

# ロジックモデルによる施策の評価(⑦ 科学技術関連)

【施策展開】

・3(5) : ア 研究開発・交流の基盤づくり、イ 知的・産業クラスター形成の推進、ウ 研究開発成果の技術移転による地場産業の高度化、エ 科学技術を担う人づくり

| 施策 ※1<br>(当該施策が属する施策展開)            | 主な取組【達成状況】  | 事業の種類                      | H24~30年度<br>事業費<br>(百万円) | 初期アウトカム (「成果指標」) ※2         |      |          |             | 最終アウトカム (「目標とするがた」) |                      |  |             | 各施策に属する取組<br>の有効性の評価 | 施策及びその評価に関する論点 |  |  |   |   |
|------------------------------------|---|----------------------------|--------------------------|-----------------------------|------|----------|-------------|---------------------|----------------------|--|-------------|----------------------|----------------|--|--|---|---|
|                                    |   |                            |                          | 基準値                         | 実績値  | 改善<br>状況 | R3年度<br>目標値 | 基準値                 | 実績値                  | 改善<br>状況                                   | R3年度<br>目標値 |                      |                |  |  |   |   |
| ○大学院大学の周辺環境及び<br>研究開発拠点の整備 (3(5)ア) | ・OISTの規模拡充に対する取組支援等【達成】<br>・最先端の研究機器等の整備を通じたバイオ関連企業の集積促進等【達成】   | 国直轄<br>ハード交付金              | 122,306<br>467           | 自然科学系高等教育機関の研究者数 (人)        | 751  | 862      | ↗           | 863                 | 学術・開発研究機<br>関の集積(機関) | 76   | 76          | ↶                    | 81             | 一定程度有効に機能<br>ただし、最終アウトカムが改善<br>しなかった要因等に留意 | ・初期アウトカムがすべて改善しているにもかかわらず、最終アウトカムである<br>「学術・開発研究機関の集積」が改善しておらず(基準値と実績値が同<br>じ)、初期アウトカムと最終アウトカムのつながりを適切に分析し、より効果的<br>な取組及び指標の設定を検討することが必要 |   |   |
| ○科学技術の発展を担う人材の育成<br>(3(5)エ)        | ・スーパーサイエンスハイスクールにおける科学技術系人材の育成【進展】<br>・沖縄科学グランプリの開催、選考した生徒の先端研究機関等への派遣【達成】<br>・児童向け科学教室、中高生向け科学教育プログラムの推進【達成】 | —<br>県単<br>ソフト交付金          | —<br>37<br>386           | 理系大学への進学率 (%)               | 13.8 | 18.5     | ↗           | 20.0<br>以上          |                      | 一定程度有効に機能<br>ただし、最終アウトカムが改善<br>しなかった要因等に留意 |             |                      |                |  |  |   |   |
| ○大学院大学を核とした先端的な<br>共同研究の推進 (3(5)イ) | ・大学等と県内外企業のマッチングを通じた共同研究等の支援【達成】<br>・健康医療、環境分野等における産学共同研究の支援【達成】<br>・先端技術を活用したエネルギー分野の共同研究の支援【概ね達成】           | ソフト交付金<br>ソフト交付金<br>ソフト交付金 | 800<br>368<br>340        | 県内における共同研究実施件数 (件)          | 87   | 186      | ↗           | 265                 |                      | 一定程度有効に機能<br>ただし、最終アウトカムが改善<br>しなかった要因等に留意 |             |                      |                |  |  |   |   |
| ○先端医療技術の研究基盤の構築<br>(3(5)イ)         | ・先端医療技術の実用化に向けた研究支援【進展】<br>・再生医療の実現に向けた産業技術開発等【達成】<br>・感染症分野の研究成果の社会実装の推進【達成】                                 | ソフト交付金<br>ソフト交付金<br>ソフト交付金 | 661<br>1,468<br>1,147    | 先端医療分野における研究実施件数 (件・累計)     | 3    | 19       | ↗           | 19                  |                      | 一定程度有効に機能<br>ただし、最終アウトカムが改善<br>しなかった要因等に留意 |             |                      |                |  |  |   |   |
| ○研究開発ベンチャー等による新事業<br>の創出 (3(5)イ)   | ・ベンチャー企業等の研究成果の事業化に向けた専門家のハズオン支援等【達成】<br>・医薬品開発の事業化加速に資する基盤技術の開発支援等【達成】                                       | ソフト交付金<br>ソフト交付金           | 1,311<br>441             | 研究開発型ベンチャー企業数 (社)           | 32   | 61       | ↗           | 56                  |                      | 一定程度有効に機能<br>ただし、最終アウトカムが改善<br>しなかった要因等に留意 |             |                      |                |  |  |   |   |
| ○研究成果等の技術移転の推進<br>(3(5)ウ)          | ・バイオマス原料の産業利用に向けた共同研究【達成】<br>・産業財産権等の保護・活用等に関するハズオン支援【達成】   | ソフト交付金<br>県単               | 277<br>140               | 研究成果の技術移転件数 (特許許諾件数) (件・累計) | 2    | 16       | ↗           | 20<br>以上            |                      | 一定程度有効に機能<br>ただし、最終アウトカムが改善<br>しなかった要因等に留意 |             |                      |                |  |  |   |   |
| ○県立試験研究機関における研究<br>開発の推進 (3(5)ウ)   | ・県立試験研究機関における産業界のニーズを踏まえた研究【達成】<br>・園芸品目のオリジナル品種や高収益栽培技術の開発【達成】<br>・アグー豚の優良種の選抜・改良【達成】                        | 県単<br>ソフト交付金<br>ソフト交付金     | 289<br>1,206<br>230      | 県内からの特許等出願件数 (件・累計)         | 651  | 6,400    | ↗           | 7,476               |                      | 一定程度有効に機能<br>ただし、最終アウトカムが改善<br>しなかった要因等に留意 |             |                      |                |  |  |   |   |
| ○大学院大学の周辺環境及び<br>研究開発拠点の整備 (3(5)ア) | ・OISTの規模拡充に向けた取組支援等【達成】(再掲)<br>・優れた外国人研究者等を受け入れるための住宅等の環境整備【達成】   | 国直轄<br>県単・ソフト交<br>付金       | 122,306<br>131           | 自然科学系高等教育機関の外国人研究者数 (人)     | 110  | 252      | ↗           | 311                 |                      | 海外との研究ネット<br>ワークの拡大<br>(件)                 | 90          | 124                  | ↗              | 110  |  | 有効に機能<br>ただし、自然科学系の国際セ<br>ミナー等開催数に係る取組に<br>ついては、一定程度有効に機<br>能 | ・大学院大学の周辺環境及び研究開発拠点の整備や国際的な研究交流・<br>情報発信拠点の形成に係る施策に属する取組のうち、初期アウトカム「自然<br>科学系の国際セミナー等開催数」に係る取組について「一定程度有効に機<br>能」と評価しているが、当該初期アウトカムの改善状況が必ずしも十分でない<br>ことに留意 |
| ○国際的な研究交流・情報発信拠点<br>の形成 (3(5)ア)    | ・国際共同研究に対する支援【達成】<br>・県内の研究成果の国内外への発信に向けたセミナー等の開催【概ね達成】   | ソフト交付金<br>県単               | 1,235<br>—               | 自然科学系の国際セミナー等開催数 (件)        | 16   | 47       | ↗           | 82                  |                      |  | 一定程度有効に機能   |                      |                |  |  |   |   |

※1 初期アウトカムに対応した施策を列挙しているため、一部の施策については再掲。

※2 単に取組のアウトプットを成果指標としており、アウトカムとは整理し難い場合、初期アウトカムには含めていない。  
アウトプット指標：「科学技術にかかる体験型講座開催数(年間)」

※3 実績値は基準値から変化がないところ、目標値に照らして改善が見られないことを踏まえ、改善状況は便宜上「↶」(改善せず)とする。

## 主な取組の評価（⑦科学技術関連）

### <学術・開発研究機関の集積>

- 先端医療技術の研究基盤の構築に向けた**再生医療技術の実現に向けた産業技術開発**、研究開発ベンチャー等による新事業の創出に向けたソフト交付金による**ベンチャー企業等の研究成果の事業化に向けた専門家のハンズオン支援**、県立試験研究機関における研究開発の推進に向けた**園芸品目のオリジナル品種や高収益栽培技術の開発**等の取組が**一定程度有効に機能**したものの、学術・開発研究機関数の増加は見られなかったことから、**最終アウトカムが改善しなかった要因等に留意が必要**である。

### <海外との研究ネットワークの拡大>

- 海外との研究ネットワークが拡大した要因としては、大学院大学の周辺環境及び研究開発拠点の整備に向けた国直轄による**OIST（沖縄科学技術大学院大学）の規模拡充に対する支援等**の取組が**有効に機能**したほか、国際的な研究交流・情報発信拠点の形成に向けたソフト交付金による**国際共同研究に対する支援等**の取組が**一定程度有効に機能**したことが考えられる。

### 1. 有効性が認められる取組

| 取組 ※ 1 | 種別 | 事業費<br>(百万円) |
|--------|----|--------------|
|--------|----|--------------|

#### 学術・開発研究機関の集積

〔一定程度有効に機能 ただし最終アウトカムが改善しなかった要因等に留意〕 ※ 2

#### 【先端医療技術の研究基盤の構築(3(5)イ)】

|                       |        |       |
|-----------------------|--------|-------|
| ○再生医療技術の実現に向けた産業技術開発等 | ソフト交付金 | 1,468 |
|-----------------------|--------|-------|

#### 【研究開発ベンチャー等による新事業の創出(3(5)イ)】

|                                    |        |       |
|------------------------------------|--------|-------|
| ○ベンチャー企業等の研究成果の事業化に向けた専門家のハンズオン支援等 | ソフト交付金 | 1,311 |
|------------------------------------|--------|-------|

#### 【県立試験研究機関における研究開発の推進(3(5)ウ)】

|                          |        |       |
|--------------------------|--------|-------|
| ○園芸品目のオリジナル品種や高収益栽培技術の開発 | ソフト交付金 | 1,206 |
|--------------------------|--------|-------|

### 海外との研究ネットワークの拡大

〔有効に機能〕

#### 【大学院大学の周辺環境及び研究開発拠点の整備(3(5)ア)】

|                   |     |         |
|-------------------|-----|---------|
| ○OISTの規模拡充に対する支援等 | 国直轄 | 122,306 |
|-------------------|-----|---------|

〔一定程度有効に機能〕

#### 【国際的な研究交流・情報発信拠点の形成(3(5)ア)】

|               |        |       |
|---------------|--------|-------|
| ○国際共同研究に対する支援 | ソフト交付金 | 1,235 |
|---------------|--------|-------|

※ 1 列挙した取組は、ロジックモデルにおける「主な取組」から抽出。有効性が認められる取組については、事業費が一定規模（10億円以上）であり、かつ、達成状況が「達成」又は「概ね達成」の予算事業を選定。ただし、本分野においては、列挙される取組数を勘案し、上記に加えて、最終アウトカムごとに、事業費が10億円未満であるものの当該最終アウトカムに紐づけている施策の「主な取組」に列挙されている予算事業の中で次に事業費が大きく、かつ、達成状況が「達成」又は「概ね達成」の予算事業を選定。

※ 2 初期アウトカムが改善しているにもかかわらず、最終アウトカムが改善していない場合。

# ロジックモデルによる施策の評価 (福祉・医療関連)

【施策展開】

- ・2 (1) :ア 沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進、イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成
- ・2 (2) :ア 母子保健、小児医療対策の充実、イ 地域における子育て支援の充実、ウ 子ども・若者の育成支援、エ 要保護児童やひとり親家庭等への支援、オ 子どもの貧困対策の推進
- ・2 (3) :ア 高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせる環境づくり、イ 障害のある人が活動できる環境づくり、ウ 県民ニーズに即した保健医療サービスの推進、エ 福祉セーフティネットの形成、オ 保健衛生の推進

| 施策 ※1<br>(当該施策が属する施策展開)                                     | 主な取組【達成状況】   | 達成：90%以上<br>概ね達成：75%以上～90%未満<br>進捗：60%以上～75%未満<br>進展遅れ：60%未満  | 取組の種類                         | H24～30年度<br>事業費<br>(百万円)          | 初期アウトカム (「成果指標」) ※3                                   |  |   |                     | 最終アウトカム (「目標とするがた」) |   |           |             | 各施策に属する取組の有効性の評価 | 施策及びその評価に関する論点 |  |  |   |  |  |                     |                                 |  |   |   |                               |                                   |                               |   |  |        |          |  |  |                       |        |          |                    |  |                                    |        |          |   |  |   |   |   |                               |  |  |   |  |                    |          |   |       |       |                                     |          |  |  |                        |   |  |   |  |   |  |  |   |  |  |               |                                   |                     |      |                        |   |  |                                     |          |  |  |                       |   |   |                     |           |                                    |      |         |   |  |   |                     |                  |  |   |   |   |  |                               |      |                                    |      |          |   |   |                     |           |           |           |  |   |  |   |                     |                  |  |   |   |                               |                                   |                                  |      |      |   |      |   |      |      |   |          |  |  |                        |       |       |   |      |   |  |  |                  |            |                                  |           |           |   |     |                        |   |  |        |          |  |  |                       |      |      |          |           |                                    |      |      |   |  |   |                     |                  |   |   |                  |   |  |        |    |                                    |      |      |
|---|--|---|-------------------------------|-----------------------------------|---|--|---|---------------------|---------------------|---|-----------|-------------|------------------|----------------|--|--|---|--|--|---------------------|---------------------------------|--|---|---|-------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|---|--|--------|----------|--|--|-----------------------|--------|----------|--------------------|--|------------------------------------|--------|----------|---|--|---|---|---|-------------------------------|--|--|---|--|--------------------|----------|---|-------|-------|-------------------------------------|----------|--|--|------------------------|---|--|---|--|---|--|--|---|--|--|---------------|-----------------------------------|---------------------|------|------------------------|---|--|-------------------------------------|----------|--|--|-----------------------|---|---|---------------------|-----------|------------------------------------|------|---------|---|--|---|---------------------|------------------|--|---|---|---|--|-------------------------------|------|------------------------------------|------|----------|---|---|---------------------|-----------|-----------|-----------|--|---|--|---|---------------------|------------------|--|---|---|-------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|------|------|---|------|---|------|------|---|----------|--|--|------------------------|-------|-------|---|------|---|--|--|------------------|------------|----------------------------------|-----------|-----------|---|-----|------------------------|---|--|--------|----------|--|--|-----------------------|------|------|----------|-----------|------------------------------------|------|------|---|--|---|---------------------|------------------|---|---|------------------|---|--|--------|----|------------------------------------|------|------|
|   |  |   |                               |                                   | 基準値   | 実績値  | 改善状況  | R3年度<br>目標値         | 基準値                 | 実績値   | 改善状況      | R3年度<br>目標値 |                  |                |  |  |   |  |  |                     |                                 |  |   |   |                               |                                   |                               |   |  |        |          |  |  |                       |        |          |                    |  |                                    |        |          |   |  |   |   |   |                               |  |  |   |  |                    |          |   |       |       |                                     |          |  |  |                        |   |  |   |  |   |  |  |   |  |  |               |                                   |                     |      |                        |   |  |                                     |          |  |  |                       |   |   |                     |           |                                    |      |         |   |  |   |                     |                  |  |   |   |   |  |                               |      |                                    |      |          |   |   |                     |           |           |           |  |   |  |   |                     |                  |  |   |   |                               |                                   |                                  |      |      |   |      |   |      |      |   |          |  |  |                        |       |       |   |      |   |  |  |                  |            |                                  |           |           |   |     |                        |   |  |        |          |  |  |                       |      |      |          |           |                                    |      |      |   |  |   |                     |                  |   |   |                  |   |  |        |    |                                    |      |      |
| ○ライフステージに応じたつながる仕組みの構築及び県民運動の展開 (2(2)オ)                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町村への子供の貧困対策支援員の配置や子供の居場所の運営支援、支援員等に助言等を行うコーディネーターの配置や研修の実施等【<b>進展</b>】</li> <li>・民生委員向け研修の実施や民生委員制度・活動に係る広報活動【<b>達成</b>】</li> <li>・困難を抱える子ども・若者の支援活動を行う民間団体への助成等【<b>進展</b>】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国補助 2,692</li> <li>・国補助・県単 610</li> <li>・県単 31</li> </ul>   | 国補助                           | 2,692                             | 困窮世帯の割合 (沖縄県子ども調査) (小中学生調査) (%)                       | 29.9   | 25.0  | ↑                   | 20.0                | 子どもたちの健全育成が図られる教育環境がつけられていること ※9              | 23.0      | 26.8        | ↑                | 県民満足度の向上       | 一定程度有効に機能  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージに応じたつながる仕組みの構築及び県民運動の展開等の施策については、「<b>一定程度有効に機能</b>」と評価しているが、初期アウトカムである「困窮世帯の割合 (小中学生)」の改善状況は必ずしも十分とは言えない</li> <li>・また、これらの施策はその性質上、効果の発現までに一定の期間を要すると考えられることから、段階的な成果指標の設定等を通じて適切に事業効果を把握する余地がないか検討が必要 (参考：全国との比較が可能である「子供の相対的貧困率」における、沖縄の当該貧困率は29.9%(H26)で、全国平均 (13.5 (H30)) の2.2倍以上)</li> </ul> |   |  |  |                     |                                 |  |   |   |                               |                                   |                               |   |  |        |          |  |  |                       |        |          |                    |  |                                    |        |          |   |  |   |   |   |                               |  |  |   |  |                    |          |   |       |       |                                     |          |  |  |                        |   |  |   |  |   |  |  |   |  |  |               |                                   |                     |      |                        |   |  |                                     |          |  |  |                       |   |   |                     |           |                                    |      |         |   |  |   |                     |                  |  |   |   |   |  |                               |      |                                    |      |          |   |   |                     |           |           |           |  |   |  |   |                     |                  |  |   |   |                               |                                   |                                  |      |      |   |      |   |      |      |   |          |  |  |                        |       |       |   |      |   |  |  |                  |            |                                  |           |           |   |     |                        |   |  |        |          |  |  |                       |      |      |          |           |                                    |      |      |   |  |   |                     |                  |   |   |                  |   |  |        |    |                                    |      |      |
|   |  |   |                               |                                   | 困窮世帯の割合 (沖縄県子ども調査) (高校生調査) (%)                        | 29.3   | 20.4 ※4   | ↑                   | 20.0                |   |           |             |                  |                |  |  | ○子ども・若者の支援に向けた環境づくり (2(2)ウ)<br>○小中学生期及び高校生期の子どもへの支援 (2(2)オ)                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的理由等で家庭学習が困難である児童生徒向けに、地域住民の協力を得て学習支援を行う市町村への支援【<b>達成</b>】</li> <li>・<b>重要保護世帯等の小中学生及び児童扶養手当受給世帯等の高校生向け学習支援</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・経済的理由で就学が困難な小中学生への学用品・給食費等の経費補助【<b>進展</b>】</li> <li>・高校生等のいる低所得世帯への奨学金給付金の支給【<b>進展</b>】</li> <li>・<b>放課後児童クラブに対する公的施設の活用促進や運営費支援</b>【<b>達成</b>】 (再掲)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 978</li> <li>・県単 1,183</li> <li>・国補助 4,822</li> <li>・ソフト交付金 14,101</li> </ul> | ソフト交付金<br>県単<br>国補助 | 978<br>1,183<br>4,822<br>14,101 | 高等学校中途退学率 (%)  | 2.4 ※5  | 2.0   | ↓                             | 1.4                               | 少年の非行や犯罪が少なくなること ※9           | 12.7  | 22.4   | ↑      | 県民満足度の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>一定程度有効に機能</li> <li>・困窮世帯の割合、高等学校中途退学率及び刑法犯少年の検挙・補導人員に係る取組</li> <li>適切な効果把握に課題あり</li> <li>・不登校率及び登校復帰率に係る取組</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終アウトカムとして県民意識調査の調査値が設定されているため、客観的数値による目標設定をする余地がないか検討が必要</li> <li>・初期アウトカムのうち「不登校率及び登校復帰率」については、平成28年度文部科学省の通知によると「登校」という結果のみを目標とするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立をすることを旨とする必要がある。」とされていることから、これを踏まえ、より適切な指標の検討が必要</li> </ul>         | 【参考】不登校率 (小学校) (%)    | 0.37   | 0.78 ※6  | ↔                  | 0.47 ※7  | 【参考】不登校率 (中学校) (%)                 | 2.60   | 3.70 ※6  | ↔   | 3.01 ※7  | 【参考】不登校率 (高校) (%)   | 2.97  | 2.76  | ↓                             | 1.60 ※7  | 【参考】登校復帰率 (小学校) (%)  | 28.30   | 20.70  | ↔                  | 35.00 ※7 | 【参考】登校復帰率 (中学校) (%)                           | 27.80 | 36.30 | ↓                                   | 40.00 ※7 | 【参考】登校復帰率 (高校) (%)   | 33.00  | 39.80                  | ↓   | 40.00 ※7   | 刑法犯少年の検挙・補導人員 (人)                                     | 1,420  | 799   | ↓  | 971 以下   | ○子どもや母親の健康の保持・増進 (2(2)ア)                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健診の受診勧奨、「喫煙妊婦」「やせ妊婦」への保健指導【<b>概ね達成</b>】</li> <li>・<b>乳幼児健康診査の充実に向けた市町村担当者等を対象とした研修会の実施や乳幼児健康データの分析等</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・<b>周産期医療関係者向け研修会及び新生児蘇生法講習会の実施等</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・市町村が実施することも医療費助成事業の対象経費の補助【<b>進展</b>】</li> <li>・特定不妊治療費の助成及び不妊専門相談センターにおける相談対応【<b>進展</b>】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県単 12</li> <li>・県単 18</li> <li>・県単・国補助 335</li> <li>・県単 8,106</li> <li>・国補助 1,456</li> </ul> | 県単<br>県単・国補助  | 12<br>18<br>335<br>8,106<br>1,456 | 低体重児出生率 (出生百対) (%)  | 11.2 | 11.1                   | ↓   | 9.5  | 安心して子供を<br>生み育てられる<br>環境が整っていること ※9 | 16.5     | 33.5   | ↓  | 県民満足度の向上              | <ul style="list-style-type: none"> <li>改善・見直しの余地あり</li> <li>・低体重児出生率に係る取組</li> <li>一定程度有効に機能</li> <li>・周産期死亡率に係る取組</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終アウトカムとして県民意識調査の調査値が設定されているため、客観的数値による目標設定をする余地がないか検討が必要</li> </ul>  | 周産期死亡率 (出産千対) (%)   | 4.1       | 3.5                                | ↓    | 3.8     | ○ライフステージに応じたつながる仕組みの構築及び県民運動の展開 (2(2)オ)               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内市町村への乳児家庭訪問事業及び養育支援訪問事業の実施等の働きかけ【<b>順調</b>】※2</li> <li>・民生委員向け研修の実施や民生委員制度・活動に係る広報活動【<b>達成</b>】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県単等 4</li> <li>・国補助・県単 610</li> </ul>                   | 県単等<br>国補助・県単       | 4<br>610         | 乳幼児健康診査受診率 (乳児) (%)                                    | 87.6  | 90.7  | ↓   | 95.0   | 保育所や学童<br>保育所を利用<br>しやすいこと ※9 | 12.7 | 29.0                               | ↓    | 県民満足度の向上 | 一定程度有効に機能                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>(参考)<br/>初期アウトカム「改善不十分(↓)」または「改善せず(↔)」の背景・要因</li> <li>・<b>低体重児出生率</b><br/>女性の社会進出に伴う晩婚化や高齢出産の増加、医療に進歩に伴う極低出生体重児等の救命率の向上 等</li> </ul> | 放課後児童クラブ平均月額利用料 (円) | 11,000    | 9,169     | ↓         | 9000 未満  | 放課後児童クラブ登録児童数 (人)                                     | 10,804   | 19,324  | ↓                   | 21,000 以上        | ○地域における子育て支援及び支援体制の充実 (2(2)イ)<br>○乳幼児期の子どもへの支援 (2(2)オ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>放課後児童クラブに対する公的施設の活用促進や運営費支援</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・<b>市町村が実施する一時預かり・延長・夜間保育や病児保育事業等への補助</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・待機児童解消に向けた各種取組 (保育所等の整備、認可外保育施設の認可促進、保育士確保等)【<b>進展</b>】</li> <li>・幼稚園における預かり保育の実施【<b>進展</b>】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 14,101</li> <li>・県単 13,044</li> <li>・ソフト交付金 50,756</li> <li>・国補助 969</li> <li>・ソフト交付金</li> </ul> | ソフト交付金<br>県単<br>国補助<br>ソフト交付金 | 14,101<br>13,044<br>50,756<br>969 | 預かり保育実施率 (公立幼稚園) (%)             | 62.1 | 85.3 | ↓ | 80.0 | 仕事と子育てが両<br>立しやすい労働条<br>件や職場環境が<br>整っていること ※9 | 14.4 | 24.1 | ↓ | 県民満足度の向上 | 一定程度有効に機能  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終アウトカムとして県民意識調査の調査値が設定されているため、客観的数値による目標設定をする余地がないか検討が必要</li> </ul>   | 保育所入所待機児童数 (顕在・潜在) (人) | 9,000 | 3,260 | ↓ | 0    | ○ひとり親家庭等の自立支援 (2(2)エ)<br>○保護者への支援 (2(2)オ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>ひとり親家庭等向け就労支援講習会、就業相談・紹介等の実施、給付金支給、生活支援ヘルパー派遣等</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・ひとり親家庭の親の技能習得 (日商簿記・電子会計事務検定)の支援等【<b>達成</b>】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 606</li> <li>・ソフト交付金 111</li> </ul> | ソフト交付金<br>ソフト交付金 | 606<br>111 | 就職相談から就職に結びついたひとり親家庭の数 (累計) (世帯) | 84        | 740       | ↓ | 800 | 取入が着実に<br>増えること (%) ※9 | 10.0  | 17.7   | ↓      | 県民満足度の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>一定程度有効に機能</li> <li>一定程度有効に機能</li> <li>改善・見直しの検討が必要</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>(参考)<br/>初期アウトカム「改善不十分(↓)」または「改善せず(↔)」の背景・要因</li> <li>・<b>若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合)</b><br/>国勢調査 (5年毎に実施)の数値を使用しており、実績値 (平成27年 (最新値)) は基準値 (平成17年) から改善が見られない結果となっているところ、毎年行われる労働力調査においては平成27年の4.0%から平成30年は3.1%と0.9ポイント改善が見られる</li> </ul> | 正規雇用者 (役員を除く) の割合 (%) | 59.6 | 61.4 | ↓        | 62.5      | 若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合) (%) (国勢調査) | 1.91 | 1.95 | ↔   | 1.50   | 参考：労働力調査  | 4.0 (H27)           | 3.1 (H30)        | - | - | ○保護者への支援 (2(2)オ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・非正規従業員の正規雇用化のため従業員研修を実施する県内企業への経費補助【<b>達成</b>】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 21</li> </ul> | ソフト交付金 | 21 | 若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合) (%) (国勢調査) | 1.91 | 1.95 |
| ○子ども・若者の支援に向けた環境づくり (2(2)ウ)<br>○小中学生期及び高校生期の子どもへの支援 (2(2)オ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的理由等で家庭学習が困難である児童生徒向けに、地域住民の協力を得て学習支援を行う市町村への支援【<b>達成</b>】</li> <li>・<b>重要保護世帯等の小中学生及び児童扶養手当受給世帯等の高校生向け学習支援</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・経済的理由で就学が困難な小中学生への学用品・給食費等の経費補助【<b>進展</b>】</li> <li>・高校生等のいる低所得世帯への奨学金給付金の支給【<b>進展</b>】</li> <li>・<b>放課後児童クラブに対する公的施設の活用促進や運営費支援</b>【<b>達成</b>】 (再掲)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 978</li> <li>・県単 1,183</li> <li>・国補助 4,822</li> <li>・ソフト交付金 14,101</li> </ul>                    | ソフト交付金<br>県単<br>国補助           | 978<br>1,183<br>4,822<br>14,101   | 高等学校中途退学率 (%)   | 2.4 ※5   | 2.0   | ↓                   | 1.4                 | 少年の非行や犯罪が少なくなること ※9                           | 12.7      | 22.4        | ↑                | 県民満足度の向上       | <ul style="list-style-type: none"> <li>一定程度有効に機能</li> <li>・困窮世帯の割合、高等学校中途退学率及び刑法犯少年の検挙・補導人員に係る取組</li> <li>適切な効果把握に課題あり</li> <li>・不登校率及び登校復帰率に係る取組</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終アウトカムとして県民意識調査の調査値が設定されているため、客観的数値による目標設定をする余地がないか検討が必要</li> <li>・初期アウトカムのうち「不登校率及び登校復帰率」については、平成28年度文部科学省の通知によると「登校」という結果のみを目標とするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立をすることを旨とする必要がある。」とされていることから、これを踏まえ、より適切な指標の検討が必要</li> </ul>   |   |  |  |                     |                                 |  |   |   |                               |                                   |                               |   |  |        |          |  |  |                       |        |          |                    |  |                                    |        |          |   |  |   |   |   |                               |  |  |   |  |                    |          |   |       |       |                                     |          |  |  |                        |   |  |   |  |   |  |  |   |  |  |               |                                   |                     |      |                        |   |  |                                     |          |  |  |                       |   |   |                     |           |                                    |      |         |   |  |   |                     |                  |  |   |   |   |  |                               |      |                                    |      |          |   |   |                     |           |           |           |  |   |  |   |                     |                  |  |   |   |                               |                                   |                                  |      |      |   |      |   |      |      |   |          |  |  |                        |       |       |   |      |   |  |  |                  |            |                                  |           |           |   |     |                        |   |  |        |          |  |  |                       |      |      |          |           |                                    |      |      |   |  |   |                     |                  |   |   |                  |   |  |        |    |                                    |      |      |
|   |  |   |                               |                                   | 【参考】不登校率 (小学校) (%)                                    | 0.37   | 0.78 ※6   | ↔                   | 0.47 ※7             |   |           |             |                  |                |  |  | 【参考】不登校率 (中学校) (%)  | 2.60   | 3.70 ※6  | ↔                   | 3.01 ※7                         | 【参考】不登校率 (高校) (%)                                      | 2.97  | 2.76  | ↓                             | 1.60 ※7                           | 【参考】登校復帰率 (小学校) (%)           | 28.30   | 20.70  | ↔      | 35.00 ※7 | 【参考】登校復帰率 (中学校) (%)  | 27.80  | 36.30                 | ↓      | 40.00 ※7 | 【参考】登校復帰率 (高校) (%) | 33.00  | 39.80                              | ↓      | 40.00 ※7 | 刑法犯少年の検挙・補導人員 (人)                                     | 1,420  | 799   | ↓   | 971 以下  | ○子どもや母親の健康の保持・増進 (2(2)ア)      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健診の受診勧奨、「喫煙妊婦」「やせ妊婦」への保健指導【<b>概ね達成</b>】</li> <li>・<b>乳幼児健康診査の充実に向けた市町村担当者等を対象とした研修会の実施や乳幼児健康データの分析等</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・<b>周産期医療関係者向け研修会及び新生児蘇生法講習会の実施等</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・市町村が実施することも医療費助成事業の対象経費の補助【<b>進展</b>】</li> <li>・特定不妊治療費の助成及び不妊専門相談センターにおける相談対応【<b>進展</b>】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県単 12</li> <li>・県単 18</li> <li>・県単・国補助 335</li> <li>・県単 8,106</li> <li>・国補助 1,456</li> </ul> | 県単<br>県単・国補助  | 12<br>18<br>335<br>8,106<br>1,456                            | 低体重児出生率 (出生百対) (%) | 11.2     | 11.1  | ↓     | 9.5   | 安心して子供を<br>生み育てられる<br>環境が整っていること ※9 | 16.5     | 33.5   | ↓  | 県民満足度の向上               | <ul style="list-style-type: none"> <li>改善・見直しの余地あり</li> <li>・低体重児出生率に係る取組</li> <li>一定程度有効に機能</li> <li>・周産期死亡率に係る取組</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終アウトカムとして県民意識調査の調査値が設定されているため、客観的数値による目標設定をする余地がないか検討が必要</li> </ul> | 周産期死亡率 (出産千対) (%)                                     | 4.1  | 3.5   | ↓  | 3.8  | ○ライフステージに応じたつながる仕組みの構築及び県民運動の展開 (2(2)オ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内市町村への乳児家庭訪問事業及び養育支援訪問事業の実施等の働きかけ【<b>順調</b>】※2</li> <li>・民生委員向け研修の実施や民生委員制度・活動に係る広報活動【<b>達成</b>】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県単等 4</li> <li>・国補助・県単 610</li> </ul>  | 県単等<br>国補助・県単 | 4<br>610                          | 乳幼児健康診査受診率 (乳児) (%) | 87.6 | 90.7                   | ↓   | 95.0   | 保育所や学童<br>保育所を利用<br>しやすいこと ※9       | 12.7     | 29.0   | ↓  | 県民満足度の向上              | 一定程度有効に機能   | <ul style="list-style-type: none"> <li>(参考)<br/>初期アウトカム「改善不十分(↓)」または「改善せず(↔)」の背景・要因</li> <li>・<b>低体重児出生率</b><br/>女性の社会進出に伴う晩婚化や高齢出産の増加、医療に進歩に伴う極低出生体重児等の救命率の向上 等</li> </ul> | 放課後児童クラブ平均月額利用料 (円) | 11,000    | 9,169                              | ↓    | 9000 未満 | 放課後児童クラブ登録児童数 (人)                                     | 10,804   | 19,324  | ↓                   | 21,000 以上        | ○地域における子育て支援及び支援体制の充実 (2(2)イ)<br>○乳幼児期の子どもへの支援 (2(2)オ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>放課後児童クラブに対する公的施設の活用促進や運営費支援</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・<b>市町村が実施する一時預かり・延長・夜間保育や病児保育事業等への補助</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・待機児童解消に向けた各種取組 (保育所等の整備、認可外保育施設の認可促進、保育士確保等)【<b>進展</b>】</li> <li>・幼稚園における預かり保育の実施【<b>進展</b>】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 14,101</li> <li>・県単 13,044</li> <li>・ソフト交付金 50,756</li> <li>・国補助 969</li> <li>・ソフト交付金</li> </ul> | ソフト交付金<br>県単<br>国補助<br>ソフト交付金   | 14,101<br>13,044<br>50,756<br>969                            | 預かり保育実施率 (公立幼稚園) (%)          | 62.1 | 85.3                               | ↓    | 80.0     | 仕事と子育てが両<br>立しやすい労働条<br>件や職場環境が<br>整っていること ※9 | 14.4  | 24.1                | ↓         | 県民満足度の向上  | 一定程度有効に機能 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終アウトカムとして県民意識調査の調査値が設定されているため、客観的数値による目標設定をする余地がないか検討が必要</li> </ul> | 保育所入所待機児童数 (顕在・潜在) (人)                                | 9,000  | 3,260   | ↓                   | 0                | ○ひとり親家庭等の自立支援 (2(2)エ)<br>○保護者への支援 (2(2)オ)              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>ひとり親家庭等向け就労支援講習会、就業相談・紹介等の実施、給付金支給、生活支援ヘルパー派遣等</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・ひとり親家庭の親の技能習得 (日商簿記・電子会計事務検定)の支援等【<b>達成</b>】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 606</li> <li>・ソフト交付金 111</li> </ul>  | ソフト交付金<br>ソフト交付金              | 606<br>111                        | 就職相談から就職に結びついたひとり親家庭の数 (累計) (世帯) | 84   | 740  | ↓ | 800  | 取入が着実に<br>増えること (%) ※9                        | 10.0 | 17.7 | ↓ | 県民満足度の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>一定程度有効に機能</li> <li>一定程度有効に機能</li> <li>改善・見直しの検討が必要</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>(参考)<br/>初期アウトカム「改善不十分(↓)」または「改善せず(↔)」の背景・要因</li> <li>・<b>若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合)</b><br/>国勢調査 (5年毎に実施)の数値を使用しており、実績値 (平成27年 (最新値)) は基準値 (平成17年) から改善が見られない結果となっているところ、毎年行われる労働力調査においては平成27年の4.0%から平成30年は3.1%と0.9ポイント改善が見られる</li> </ul> | 正規雇用者 (役員を除く) の割合 (%)  | 59.6  | 61.4  | ↓ | 62.5 | 若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合) (%) (国勢調査)        | 1.91   | 1.95   | ↔                | 1.50       | 参考：労働力調査                         | 4.0 (H27) | 3.1 (H30) | - | -   | ○保護者への支援 (2(2)オ)       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・非正規従業員の正規雇用化のため従業員研修を実施する県内企業への経費補助【<b>達成</b>】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 21</li> </ul> | ソフト交付金 | 21       | 若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合) (%) (国勢調査)   | 1.91   | 1.95                  | ↔    | 1.50 | 参考：労働力調査 | 4.0 (H27) | 3.1 (H30)                          | -    | -    | 子ども・若者の支援に向けた環境づくり (2(2)ウ)<br>○支援を必要とする若者への支援 (2(2)オ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者無業者 (ニート) 向けの基礎的職業訓練の実施【<b>達成</b>】</li> <li>・困難を抱える子ども・若者の支援活動を行う民間団体への助成等【<b>進展</b>】</li> <li>・就職に係る個別相談やカウンセリング、セミナー等の実施【<b>順調</b>】※2</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 205</li> <li>・県単 31</li> <li>・県単等 500</li> </ul> | ソフト交付金<br>県単<br>県単等 | 205<br>31<br>500 |   |   |                  |   |  |        |    |                                    |      |      |
| ○子どもや母親の健康の保持・増進 (2(2)ア)                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健診の受診勧奨、「喫煙妊婦」「やせ妊婦」への保健指導【<b>概ね達成</b>】</li> <li>・<b>乳幼児健康診査の充実に向けた市町村担当者等を対象とした研修会の実施や乳幼児健康データの分析等</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・<b>周産期医療関係者向け研修会及び新生児蘇生法講習会の実施等</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・市町村が実施することも医療費助成事業の対象経費の補助【<b>進展</b>】</li> <li>・特定不妊治療費の助成及び不妊専門相談センターにおける相談対応【<b>進展</b>】</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県単 12</li> <li>・県単 18</li> <li>・県単・国補助 335</li> <li>・県単 8,106</li> <li>・国補助 1,456</li> </ul>            | 県単<br>県単・国補助                  | 12<br>18<br>335<br>8,106<br>1,456 | 低体重児出生率 (出生百対) (%)                                    | 11.2   | 11.1  | ↓                   | 9.5                 | 安心して子供を<br>生み育てられる<br>環境が整っていること ※9           | 16.5      | 33.5        | ↓                | 県民満足度の向上       | <ul style="list-style-type: none"> <li>改善・見直しの余地あり</li> <li>・低体重児出生率に係る取組</li> <li>一定程度有効に機能</li> <li>・周産期死亡率に係る取組</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終アウトカムとして県民意識調査の調査値が設定されているため、客観的数値による目標設定をする余地がないか検討が必要</li> </ul>   |   |  |  |                     |                                 |  |   |   |                               |                                   |                               |   |  |        |          |  |  |                       |        |          |                    |  |                                    |        |          |   |  |   |   |   |                               |  |  |   |  |                    |          |   |       |       |                                     |          |  |  |                        |   |  |   |  |   |  |  |   |  |  |               |                                   |                     |      |                        |   |  |                                     |          |  |  |                       |   |   |                     |           |                                    |      |         |   |  |   |                     |                  |  |   |   |   |  |                               |      |                                    |      |          |   |   |                     |           |           |           |  |   |  |   |                     |                  |  |   |   |                               |                                   |                                  |      |      |   |      |   |      |      |   |          |  |  |                        |       |       |   |      |   |  |  |                  |            |                                  |           |           |   |     |                        |   |  |        |          |  |  |                       |      |      |          |           |                                    |      |      |   |  |   |                     |                  |   |   |                  |   |  |        |    |                                    |      |      |
|   |  |   |                               |                                   | 周産期死亡率 (出産千対) (%)                                     | 4.1  | 3.5   | ↓                   | 3.8                 |   |           |             |                  |                |  |  | ○ライフステージに応じたつながる仕組みの構築及び県民運動の展開 (2(2)オ)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内市町村への乳児家庭訪問事業及び養育支援訪問事業の実施等の働きかけ【<b>順調</b>】※2</li> <li>・民生委員向け研修の実施や民生委員制度・活動に係る広報活動【<b>達成</b>】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県単等 4</li> <li>・国補助・県単 610</li> </ul>  | 県単等<br>国補助・県単       | 4<br>610                        | 乳幼児健康診査受診率 (乳児) (%)                                    | 87.6  | 90.7  | ↓                             | 95.0                              | 保育所や学童<br>保育所を利用<br>しやすいこと ※9 | 12.7  | 29.0   | ↓      | 県民満足度の向上 | 一定程度有効に機能  | <ul style="list-style-type: none"> <li>(参考)<br/>初期アウトカム「改善不十分(↓)」または「改善せず(↔)」の背景・要因</li> <li>・<b>低体重児出生率</b><br/>女性の社会進出に伴う晩婚化や高齢出産の増加、医療に進歩に伴う極低出生体重児等の救命率の向上 等</li> </ul>  | 放課後児童クラブ平均月額利用料 (円)   | 11,000 | 9,169    | ↓                  | 9000 未満  | 放課後児童クラブ登録児童数 (人)                  | 10,804 | 19,324   | ↓   | 21,000 以上  | ○地域における子育て支援及び支援体制の充実 (2(2)イ)<br>○乳幼児期の子どもへの支援 (2(2)オ)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>放課後児童クラブに対する公的施設の活用促進や運営費支援</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・<b>市町村が実施する一時預かり・延長・夜間保育や病児保育事業等への補助</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・待機児童解消に向けた各種取組 (保育所等の整備、認可外保育施設の認可促進、保育士確保等)【<b>進展</b>】</li> <li>・幼稚園における預かり保育の実施【<b>進展</b>】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 14,101</li> <li>・県単 13,044</li> <li>・ソフト交付金 50,756</li> <li>・国補助 969</li> <li>・ソフト交付金</li> </ul> | ソフト交付金<br>県単<br>国補助<br>ソフト交付金 | 14,101<br>13,044<br>50,756<br>969  | 預かり保育実施率 (公立幼稚園) (%)   | 62.1  | 85.3   | ↓                  | 80.0     | 仕事と子育てが両<br>立しやすい労働条<br>件や職場環境が<br>整っていること ※9 | 14.4  | 24.1  | ↓                                   | 県民満足度の向上 | 一定程度有効に機能  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終アウトカムとして県民意識調査の調査値が設定されているため、客観的数値による目標設定をする余地がないか検討が必要</li> </ul>   | 保育所入所待機児童数 (顕在・潜在) (人) | 9,000   | 3,260  | ↓   | 0  | ○ひとり親家庭等の自立支援 (2(2)エ)<br>○保護者への支援 (2(2)オ)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>ひとり親家庭等向け就労支援講習会、就業相談・紹介等の実施、給付金支給、生活支援ヘルパー派遣等</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・ひとり親家庭の親の技能習得 (日商簿記・電子会計事務検定)の支援等【<b>達成</b>】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 606</li> <li>・ソフト交付金 111</li> </ul> | ソフト交付金<br>ソフト交付金                        | 606<br>111   | 就職相談から就職に結びついたひとり親家庭の数 (累計) (世帯)   | 84            | 740                               | ↓                   | 800  | 取入が着実に<br>増えること (%) ※9 | 10.0  | 17.7   | ↓                                   | 県民満足度の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>一定程度有効に機能</li> <li>一定程度有効に機能</li> <li>改善・見直しの検討が必要</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>(参考)<br/>初期アウトカム「改善不十分(↓)」または「改善せず(↔)」の背景・要因</li> <li>・<b>若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合)</b><br/>国勢調査 (5年毎に実施)の数値を使用しており、実績値 (平成27年 (最新値)) は基準値 (平成17年) から改善が見られない結果となっているところ、毎年行われる労働力調査においては平成27年の4.0%から平成30年は3.1%と0.9ポイント改善が見られる</li> </ul> | 正規雇用者 (役員を除く) の割合 (%) | 59.6  | 61.4  | ↓                   | 62.5      | 若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合) (%) (国勢調査) | 1.91 | 1.95    | ↔   | 1.50   | 参考：労働力調査  | 4.0 (H27)           | 3.1 (H30)        | -  | -   | ○保護者への支援 (2(2)オ)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・非正規従業員の正規雇用化のため従業員研修を実施する県内企業への経費補助【<b>達成</b>】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 21</li> </ul> | ソフト交付金                        | 21   | 若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合) (%) (国勢調査) | 1.91 | 1.95     | ↔   | 1.50  | 参考：労働力調査            | 4.0 (H27) | 3.1 (H30) | -         | -  | 子ども・若者の支援に向けた環境づくり (2(2)ウ)<br>○支援を必要とする若者への支援 (2(2)オ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者無業者 (ニート) 向けの基礎的職業訓練の実施【<b>達成</b>】</li> <li>・困難を抱える子ども・若者の支援活動を行う民間団体への助成等【<b>進展</b>】</li> <li>・就職に係る個別相談やカウンセリング、セミナー等の実施【<b>順調</b>】※2</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 205</li> <li>・県単 31</li> <li>・県単等 500</li> </ul> | ソフト交付金<br>県単<br>県単等 | 205<br>31<br>500 |  |   |   |                               |                                   |                                  |      |      |   |      |   |      |      |   |          |  |  |                        |       |       |   |      |   |  |  |                  |            |                                  |           |           |   |     |                        |   |  |        |          |  |  |                       |      |      |          |           |                                    |      |      |   |  |   |                     |                  |   |   |                  |   |  |        |    |                                    |      |      |
| ○ライフステージに応じたつながる仕組みの構築及び県民運動の展開 (2(2)オ)                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内市町村への乳児家庭訪問事業及び養育支援訪問事業の実施等の働きかけ【<b>順調</b>】※2</li> <li>・民生委員向け研修の実施や民生委員制度・活動に係る広報活動【<b>達成</b>】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県単等 4</li> <li>・国補助・県単 610</li> </ul>   | 県単等<br>国補助・県単                 | 4<br>610                          | 乳幼児健康診査受診率 (乳児) (%)                                   | 87.6   | 90.7  | ↓                   | 95.0                | 保育所や学童<br>保育所を利用<br>しやすいこと ※9                 | 12.7      | 29.0        | ↓                | 県民満足度の向上       | 一定程度有効に機能  | <ul style="list-style-type: none"> <li>(参考)<br/>初期アウトカム「改善不十分(↓)」または「改善せず(↔)」の背景・要因</li> <li>・<b>低体重児出生率</b><br/>女性の社会進出に伴う晩婚化や高齢出産の増加、医療に進歩に伴う極低出生体重児等の救命率の向上 等</li> </ul>  |   |  |  |                     |                                 |  |   |   |                               |                                   |                               |   |  |        |          |  |  |                       |        |          |                    |  |                                    |        |          |   |  |   |   |   |                               |  |  |   |  |                    |          |   |       |       |                                     |          |  |  |                        |   |  |   |  |   |  |  |   |  |  |               |                                   |                     |      |                        |   |  |                                     |          |  |  |                       |   |   |                     |           |                                    |      |         |   |  |   |                     |                  |  |   |   |   |  |                               |      |                                    |      |          |   |   |                     |           |           |           |  |   |  |   |                     |                  |  |   |   |                               |                                   |                                  |      |      |   |      |   |      |      |   |          |  |  |                        |       |       |   |      |   |  |  |                  |            |                                  |           |           |   |     |                        |   |  |        |          |  |  |                       |      |      |          |           |                                    |      |      |   |  |   |                     |                  |   |   |                  |   |  |        |    |                                    |      |      |
|   |  |   |                               |                                   | 放課後児童クラブ平均月額利用料 (円)                                   | 11,000   | 9,169   | ↓                   | 9000 未満             |   |           |             |                  |                |  |  | 放課後児童クラブ登録児童数 (人)   | 10,804   | 19,324   | ↓                   | 21,000 以上                       | ○地域における子育て支援及び支援体制の充実 (2(2)イ)<br>○乳幼児期の子どもへの支援 (2(2)オ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>放課後児童クラブに対する公的施設の活用促進や運営費支援</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・<b>市町村が実施する一時預かり・延長・夜間保育や病児保育事業等への補助</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・待機児童解消に向けた各種取組 (保育所等の整備、認可外保育施設の認可促進、保育士確保等)【<b>進展</b>】</li> <li>・幼稚園における預かり保育の実施【<b>進展</b>】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 14,101</li> <li>・県単 13,044</li> <li>・ソフト交付金 50,756</li> <li>・国補助 969</li> <li>・ソフト交付金</li> </ul> | ソフト交付金<br>県単<br>国補助<br>ソフト交付金 | 14,101<br>13,044<br>50,756<br>969 | 預かり保育実施率 (公立幼稚園) (%)          | 62.1  | 85.3   | ↓      | 80.0     | 仕事と子育てが両<br>立しやすい労働条<br>件や職場環境が<br>整っていること ※9  | 14.4   | 24.1                  | ↓      | 県民満足度の向上 | 一定程度有効に機能          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終アウトカムとして県民意識調査の調査値が設定されているため、客観的数値による目標設定をする余地がないか検討が必要</li> </ul> | 保育所入所待機児童数 (顕在・潜在) (人)             | 9,000  | 3,260    | ↓   | 0  | ○ひとり親家庭等の自立支援 (2(2)エ)<br>○保護者への支援 (2(2)オ)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>ひとり親家庭等向け就労支援講習会、就業相談・紹介等の実施、給付金支給、生活支援ヘルパー派遣等</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・ひとり親家庭の親の技能習得 (日商簿記・電子会計事務検定)の支援等【<b>達成</b>】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 606</li> <li>・ソフト交付金 111</li> </ul>  | ソフト交付金<br>ソフト交付金              | 606<br>111   | 就職相談から就職に結びついたひとり親家庭の数 (累計) (世帯)   | 84  | 740  | ↓                  | 800      | 取入が着実に<br>増えること (%) ※9                        | 10.0  | 17.7  | ↓                                   | 県民満足度の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>一定程度有効に機能</li> <li>一定程度有効に機能</li> <li>改善・見直しの検討が必要</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>(参考)<br/>初期アウトカム「改善不十分(↓)」または「改善せず(↔)」の背景・要因</li> <li>・<b>若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合)</b><br/>国勢調査 (5年毎に実施)の数値を使用しており、実績値 (平成27年 (最新値)) は基準値 (平成17年) から改善が見られない結果となっているところ、毎年行われる労働力調査においては平成27年の4.0%から平成30年は3.1%と0.9ポイント改善が見られる</li> </ul> | 正規雇用者 (役員を除く) の割合 (%)  | 59.6  | 61.4   | ↓   | 62.5   | 若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合) (%) (国勢調査)  | 1.91   | 1.95   | ↔                                       | 1.50   | 参考：労働力調査   | 4.0 (H27)     | 3.1 (H30)                         | -                   | -    | ○保護者への支援 (2(2)オ)       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・非正規従業員の正規雇用化のため従業員研修を実施する県内企業への経費補助【<b>達成</b>】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 21</li> </ul> | ソフト交付金                              | 21       | 若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合) (%) (国勢調査)   | 1.91   | 1.95                  | ↔   | 1.50  | 参考：労働力調査            | 4.0 (H27) | 3.1 (H30)                          | -    | -       | 子ども・若者の支援に向けた環境づくり (2(2)ウ)<br>○支援を必要とする若者への支援 (2(2)オ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者無業者 (ニート) 向けの基礎的職業訓練の実施【<b>達成</b>】</li> <li>・困難を抱える子ども・若者の支援活動を行う民間団体への助成等【<b>進展</b>】</li> <li>・就職に係る個別相談やカウンセリング、セミナー等の実施【<b>順調</b>】※2</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 205</li> <li>・県単 31</li> <li>・県単等 500</li> </ul> | ソフト交付金<br>県単<br>県単等 | 205<br>31<br>500 |  |   |   |   |  |                               |      |                                    |      |          |   |   |                     |           |           |           |  |   |  |   |                     |                  |  |   |   |                               |                                   |                                  |      |      |   |      |   |      |      |   |          |  |  |                        |       |       |   |      |   |  |  |                  |            |                                  |           |           |   |     |                        |   |  |        |          |  |  |                       |      |      |          |           |                                    |      |      |   |  |   |                     |                  |   |   |                  |   |  |        |    |                                    |      |      |
| ○地域における子育て支援及び支援体制の充実 (2(2)イ)<br>○乳幼児期の子どもへの支援 (2(2)オ)      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>放課後児童クラブに対する公的施設の活用促進や運営費支援</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・<b>市町村が実施する一時預かり・延長・夜間保育や病児保育事業等への補助</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・待機児童解消に向けた各種取組 (保育所等の整備、認可外保育施設の認可促進、保育士確保等)【<b>進展</b>】</li> <li>・幼稚園における預かり保育の実施【<b>進展</b>】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 14,101</li> <li>・県単 13,044</li> <li>・ソフト交付金 50,756</li> <li>・国補助 969</li> <li>・ソフト交付金</li> </ul> | ソフト交付金<br>県単<br>国補助<br>ソフト交付金 | 14,101<br>13,044<br>50,756<br>969 | 預かり保育実施率 (公立幼稚園) (%)                                  | 62.1   | 85.3  | ↓                   | 80.0                | 仕事と子育てが両<br>立しやすい労働条<br>件や職場環境が<br>整っていること ※9 | 14.4      | 24.1        | ↓                | 県民満足度の向上       | 一定程度有効に機能  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終アウトカムとして県民意識調査の調査値が設定されているため、客観的数値による目標設定をする余地がないか検討が必要</li> </ul>   |   |  |  |                     |                                 |  |   |   |                               |                                   |                               |   |  |        |          |  |  |                       |        |          |                    |  |                                    |        |          |   |  |   |   |   |                               |  |  |   |  |                    |          |   |       |       |                                     |          |  |  |                        |   |  |   |  |   |  |  |   |  |  |               |                                   |                     |      |                        |   |  |                                     |          |  |  |                       |   |   |                     |           |                                    |      |         |   |  |   |                     |                  |  |   |   |   |  |                               |      |                                    |      |          |   |   |                     |           |           |           |  |   |  |   |                     |                  |  |   |   |                               |                                   |                                  |      |      |   |      |   |      |      |   |          |  |  |                        |       |       |   |      |   |  |  |                  |            |                                  |           |           |   |     |                        |   |  |        |          |  |  |                       |      |      |          |           |                                    |      |      |   |  |   |                     |                  |   |   |                  |   |  |        |    |                                    |      |      |
|   |  |   |                               |                                   | 保育所入所待機児童数 (顕在・潜在) (人)                                | 9,000  | 3,260   | ↓                   | 0                   |   |           |             |                  |                |  |  | ○ひとり親家庭等の自立支援 (2(2)エ)<br>○保護者への支援 (2(2)オ)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>ひとり親家庭等向け就労支援講習会、就業相談・紹介等の実施、給付金支給、生活支援ヘルパー派遣等</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・ひとり親家庭の親の技能習得 (日商簿記・電子会計事務検定)の支援等【<b>達成</b>】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 606</li> <li>・ソフト交付金 111</li> </ul>   | ソフト交付金<br>ソフト交付金    | 606<br>111                      | 就職相談から就職に結びついたひとり親家庭の数 (累計) (世帯)                       | 84  | 740   | ↓                             | 800                               | 取入が着実に<br>増えること (%) ※9        | 10.0  | 17.7   | ↓      | 県民満足度の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>一定程度有効に機能</li> <li>一定程度有効に機能</li> <li>改善・見直しの検討が必要</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>(参考)<br/>初期アウトカム「改善不十分(↓)」または「改善せず(↔)」の背景・要因</li> <li>・<b>若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合)</b><br/>国勢調査 (5年毎に実施)の数値を使用しており、実績値 (平成27年 (最新値)) は基準値 (平成17年) から改善が見られない結果となっているところ、毎年行われる労働力調査においては平成27年の4.0%から平成30年は3.1%と0.9ポイント改善が見られる</li> </ul> | 正規雇用者 (役員を除く) の割合 (%) | 59.6   | 61.4     | ↓                  | 62.5   | 若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合) (%) (国勢調査) | 1.91   | 1.95     | ↔   | 1.50   | 参考：労働力調査  | 4.0 (H27)   | 3.1 (H30)   | -                             | -  | ○保護者への支援 (2(2)オ)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・非正規従業員の正規雇用化のため従業員研修を実施する県内企業への経費補助【<b>達成</b>】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 21</li> </ul> | ソフト交付金             | 21       | 若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合) (%) (国勢調査)            | 1.91  | 1.95  | ↔                                   | 1.50     | 参考：労働力調査   | 4.0 (H27)  | 3.1 (H30)              | -   | -  | 子ども・若者の支援に向けた環境づくり (2(2)ウ)<br>○支援を必要とする若者への支援 (2(2)オ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者無業者 (ニート) 向けの基礎的職業訓練の実施【<b>達成</b>】</li> <li>・困難を抱える子ども・若者の支援活動を行う民間団体への助成等【<b>進展</b>】</li> <li>・就職に係る個別相談やカウンセリング、セミナー等の実施【<b>順調</b>】※2</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 205</li> <li>・県単 31</li> <li>・県単等 500</li> </ul> | ソフト交付金<br>県単<br>県単等  | 205<br>31<br>500   |   |  |  |               |                                   |                     |      |                        |   |  |                                     |          |  |  |                       |   |   |                     |           |                                    |      |         |   |  |   |                     |                  |  |   |   |   |  |                               |      |                                    |      |          |   |   |                     |           |           |           |  |   |  |   |                     |                  |  |   |   |                               |                                   |                                  |      |      |   |      |   |      |      |   |          |  |  |                        |       |       |   |      |   |  |  |                  |            |                                  |           |           |   |     |                        |   |  |        |          |  |  |                       |      |      |          |           |                                    |      |      |   |  |   |                     |                  |   |   |                  |   |  |        |    |                                    |      |      |
| ○ひとり親家庭等の自立支援 (2(2)エ)<br>○保護者への支援 (2(2)オ)                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>ひとり親家庭等向け就労支援講習会、就業相談・紹介等の実施、給付金支給、生活支援ヘルパー派遣等</b>【<b>達成</b>】</li> <li>・ひとり親家庭の親の技能習得 (日商簿記・電子会計事務検定)の支援等【<b>達成</b>】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 606</li> <li>・ソフト交付金 111</li> </ul>  | ソフト交付金<br>ソフト交付金              | 606<br>111                        | 就職相談から就職に結びついたひとり親家庭の数 (累計) (世帯)                      | 84   | 740   | ↓                   | 800                 | 取入が着実に<br>増えること (%) ※9                        | 10.0      | 17.7        | ↓                | 県民満足度の向上       | <ul style="list-style-type: none"> <li>一定程度有効に機能</li> <li>一定程度有効に機能</li> <li>改善・見直しの検討が必要</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>(参考)<br/>初期アウトカム「改善不十分(↓)」または「改善せず(↔)」の背景・要因</li> <li>・<b>若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合)</b><br/>国勢調査 (5年毎に実施)の数値を使用しており、実績値 (平成27年 (最新値)) は基準値 (平成17年) から改善が見られない結果となっているところ、毎年行われる労働力調査においては平成27年の4.0%から平成30年は3.1%と0.9ポイント改善が見られる</li> </ul>   |   |  |  |                     |                                 |  |   |   |                               |                                   |                               |   |  |        |          |  |  |                       |        |          |                    |  |                                    |        |          |   |  |   |   |   |                               |  |  |   |  |                    |          |   |       |       |                                     |          |  |  |                        |   |  |   |  |   |  |  |   |  |  |               |                                   |                     |      |                        |   |  |                                     |          |  |  |                       |   |   |                     |           |                                    |      |         |   |  |   |                     |                  |  |   |   |   |  |                               |      |                                    |      |          |   |   |                     |           |           |           |  |   |  |   |                     |                  |  |   |   |                               |                                   |                                  |      |      |   |      |   |      |      |   |          |  |  |                        |       |       |   |      |   |  |  |                  |            |                                  |           |           |   |     |                        |   |  |        |          |  |  |                       |      |      |          |           |                                    |      |      |   |  |   |                     |                  |   |   |                  |   |  |        |    |                                    |      |      |
|   |  |   |                               |                                   | 正規雇用者 (役員を除く) の割合 (%)                                 | 59.6   | 61.4  | ↓                   | 62.5                |   |           |             |                  |                |  |  | 若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合) (%) (国勢調査)  | 1.91   | 1.95   | ↔                   | 1.50                            | 参考：労働力調査   | 4.0 (H27)   | 3.1 (H30)   | -                             | -                                 | ○保護者への支援 (2(2)オ)              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・非正規従業員の正規雇用化のため従業員研修を実施する県内企業への経費補助【<b>達成</b>】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 21</li> </ul> | ソフト交付金 | 21       | 若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合) (%) (国勢調査)   | 1.91   | 1.95                  | ↔      | 1.50     | 参考：労働力調査           | 4.0 (H27)  | 3.1 (H30)                          | -      | -        | 子ども・若者の支援に向けた環境づくり (2(2)ウ)<br>○支援を必要とする若者への支援 (2(2)オ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者無業者 (ニート) 向けの基礎的職業訓練の実施【<b>達成</b>】</li> <li>・困難を抱える子ども・若者の支援活動を行う民間団体への助成等【<b>進展</b>】</li> <li>・就職に係る個別相談やカウンセリング、セミナー等の実施【<b>順調</b>】※2</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 205</li> <li>・県単 31</li> <li>・県単等 500</li> </ul> | ソフト交付金<br>県単<br>県単等   | 205<br>31<br>500  |                               |  |  |   |  |                    |          |   |       |       |                                     |          |  |  |                        |   |  |   |  |   |  |  |   |  |  |               |                                   |                     |      |                        |   |  |                                     |          |  |  |                       |   |   |                     |           |                                    |      |         |   |  |   |                     |                  |  |   |   |   |  |                               |      |                                    |      |          |   |   |                     |           |           |           |  |   |  |   |                     |                  |  |   |   |                               |                                   |                                  |      |      |   |      |   |      |      |   |          |  |  |                        |       |       |   |      |   |  |  |                  |            |                                  |           |           |   |     |                        |   |  |        |          |  |  |                       |      |      |          |           |                                    |      |      |   |  |   |                     |                  |   |   |                  |   |  |        |    |                                    |      |      |
| ○保護者への支援 (2(2)オ)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・非正規従業員の正規雇用化のため従業員研修を実施する県内企業への経費補助【<b>達成</b>】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 21</li> </ul>  | ソフト交付金                        | 21                                | 若年無業者率 (15～34歳人口に占める割合) (%) (国勢調査)                    | 1.91   | 1.95  | ↔                   | 1.50                | 参考：労働力調査                                      | 4.0 (H27) | 3.1 (H30)   | -                | -              | 子ども・若者の支援に向けた環境づくり (2(2)ウ)<br>○支援を必要とする若者への支援 (2(2)オ)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者無業者 (ニート) 向けの基礎的職業訓練の実施【<b>達成</b>】</li> <li>・困難を抱える子ども・若者の支援活動を行う民間団体への助成等【<b>進展</b>】</li> <li>・就職に係る個別相談やカウンセリング、セミナー等の実施【<b>順調</b>】※2</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 205</li> <li>・県単 31</li> <li>・県単等 500</li> </ul> | ソフト交付金<br>県単<br>県単等  | 205<br>31<br>500   |                     |                                 |  |   |   |                               |                                   |                               |   |  |        |          |  |  |                       |        |          |                    |  |                                    |        |          |   |  |   |   |   |                               |  |  |   |  |                    |          |   |       |       |                                     |          |  |  |                        |   |  |   |  |   |  |  |   |  |  |               |                                   |                     |      |                        |   |  |                                     |          |  |  |                       |   |   |                     |           |                                    |      |         |   |  |   |                     |                  |  |   |   |   |  |                               |      |                                    |      |          |   |   |                     |           |           |           |  |   |  |   |                     |                  |  |   |   |                               |                                   |                                  |      |      |   |      |   |      |      |   |          |  |  |                        |       |       |   |      |   |  |  |                  |            |                                  |           |           |   |     |                        |   |  |        |          |  |  |                       |      |      |          |           |                                    |      |      |   |  |   |                     |                  |   |   |                  |   |  |        |    |                                    |      |      |
|   |  |   |                               |                                   | 子ども・若者の支援に向けた環境づくり (2(2)ウ)<br>○支援を必要とする若者への支援 (2(2)オ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者無業者 (ニート) 向けの基礎的職業訓練の実施【<b>達成</b>】</li> <li>・困難を抱える子ども・若者の支援活動を行う民間団体への助成等【<b>進展</b>】</li> <li>・就職に係る個別相談やカウンセリング、セミナー等の実施【<b>順調</b>】※2</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト交付金 205</li> <li>・県単 31</li> <li>・県単等 500</li> </ul> | ソフト交付金<br>県単<br>県単等 | 205<br>31<br>500    |   |           |             |                  |                |  |  |   |  |  |                     |                                 |  |   |   |                               |                                   |                               |   |  |        |          |  |  |                       |        |          |                    |  |                                    |        |          |   |  |   |   |   |                               |  |  |   |  |                    |          |   |       |       |                                     |          |  |  |                        |   |  |   |  |   |  |  |   |  |  |               |                                   |                     |      |                        |   |  |                                     |          |  |  |                       |   |   |                     |           |                                    |      |         |   |  |   |                     |                  |  |   |   |   |  |                               |      |                                    |      |          |   |   |                     |           |           |           |  |   |  |   |                     |                  |  |   |   |                               |                                   |                                  |      |      |   |      |   |      |      |   |          |  |  |                        |       |       |   |      |   |  |  |                  |            |                                  |           |           |   |     |                        |   |  |        |          |  |  |                       |      |      |          |           |                                    |      |      |   |  |   |                     |                  |   |   |                  |   |  |        |    |                                    |      |      |